

20170820「井戸掘り名人イサク」

目標： アブラハムの息子イサクがとった行動から、私達のとるべき行動について考える。

聖書箇所：創世記26：12-33 時間：10分

暗誦聖句：「柔和な人たちは、幸いである。彼らは地を受けつぐであろう」(マタイによる福音書5章5節)

道具： ホワイトボード、ペン

対象者： 中3×1 中1×1 小6×1 小5×3 小3×1 小2×1 小1×2 未就園児×2

留意点： イサクは、先代と息子たちに比べ、その人格はあまり知られていない。イサクがアブラハム、ヤコブに並ぶイスラエルの父祖とされる理由に気づかせたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	アブラハムさんの息子のイサクさんについて、今日は一緒に見ていきます。 イサクさんについて知っていることはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モリヤの山</li> <li>・知らない</li> </ul>	いろいろ挙げさせ、意外と知らないことを気づかせる。
課題探究	6分	イサクさんは、案外聖書にも書かれていることが少ないんですね。 アブラハムさんが召された後、こういうことがありました。 神様から祝福を受けたとき、周りがそれを嫉妬する、うらやむことはよくあることです。そういうとき、皆さんだったらどうするでしょうか。 イサクさんは、争うよりも、自分にせっかく与えられたものを譲ってしまいました。  その後、彼をねたんだ人の処から出て行きました。その後行く先々で、生活のために井戸を掘ったのですが、毎回水が出るので、イサクは井戸掘り名人とも呼ばれるようになっていきます。  なぜ何度も井戸を掘ったと思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・井戸が涸れた。</li> <li>・戦う</li> </ul>	<p>本日の箇所のあらましを述べていく。神の祝福と、周囲の嫉妬、3度にわたる井戸の強奪である。</p> <p>嫉妬という言葉は、難しいので、相手のを良いなあと思う心、など言い換えて理解を助ける。</p> <p>譲るという選択肢があることに気づかせたい。</p> <p>砂漠での井戸の大切さを示すと、その切実さが伝わるだろう。</p> <p>井戸を掘って水が百発百中に出ることなど、現代の技術でしか不可能なこと、また井戸掘りの重労働さを伝えると、神様の祝福ぶりが伝わるだろう。</p> <p>イサクの柔和さが浮き彫りになるように話しの方向を意識したい。</p>
まとめ	2分	その都度、周りの人から、奪われたからです。みんなだったら、そういうときどうしますか。 毎回譲って、イサクは別の処へ向かっていきました。 遂に邪魔されないところまで来たとき、そこには、放牧に適した、良い平野が広がっていたのです。 皆さんも、周りとは争うことがあるかもしれません。 そのとき、イサクのように譲るといことも、一つの方法にあるのです。神様はあなたをイサクのようにもっと大きな恵みで迎えてくれると思います。 暗誦聖句		<p>神のなさる不思議である。不思議だねと子どもたちと一緒に感じ取るだけでも、価値あることと思う。</p> <p>190号のテーマ「神の恵みに生かされる」からの反映。 教師自身の例話などを提示するとなお良い。</p>